ITOIGAWA CITY

参考資料

◆財政計画（一般会計）
◆糸魚川市総合計画条例
◆糸魚川市総合計画等審議会条例
◆諮問文
◆答申文
◆計画策定の主な経過
◆糸魚川市総合計画審議会委員名簿
◆庁内総合計画策定関係者名簿
◆市民アンケート調査結果
◆都市宣言

財政計画（一般会計）

歳　入

（単位:百万円）

区分＼年度		平成28年度当初予算		計画期間（平成29年度～平成35年度）		
		金額	構成比	合計額	構成比	単年度平均
市税		6,452	24.8%	45,384	25.8%	6,483
地方交付税		9,100	35.0%	55,535	31.5%	7,933
	地方交付税	8,200	31.5%	51,850	29.5%	7,407
	臨時財政対策債	900	3.5%	3,685	2.1%	526
国県支出金		3,693	14.2%	28,431	16.2%	4,062
市債（臨時財政対策債は除く）		2,170	8.3%	16,308	9.3%	2,330
その他収入		4,609	17.7%	30,345	17.2%	4,335
	地方譲与税	1,051	4.0%	7,997	4.5%	1,142
	繰入金	513	2.0%	3,379	1.9%	483
	貸付金元利収入	1,490	5.7%	9,342	5.3%	1,335
	その他	1,555	6.0%	9,627	5.5%	1,375
合計		26,024	100.0%	176,003	100.0%	25,143

歳　出

（単位:百万円）

区分＼年度		平成28年度当初予算		計画期間（平成29年度～平成35年度）		
		金額	構成比	合計額	構成比	単年度平均
人件費		3,845	14.8%	25,617	14.5%	3,660
	退職手当除き	3,557	13.7%	23,975	13.6%	3,425
扶助費		2,944	11.3%	19,309	11.0%	2,758
公債費		4,136	15.9%	29,015	16.5%	4,145
投資的経費		3,189	12.3%	25,737	14.6%	3,676
その他経費		11,910	45.8%	78,482	44.6%	11,212
	物件費	4,391	16.9%	30,061	17.1%	4,294
	補助費等	1,539	5.9%	10,019	5.7%	1,431
	貸付金	1,504	5.8%	9,448	5.4%	1,350
	繰出金	3,695	14.2%	23,828	13.5%	3,404
	その他	781	3.0%	5,126	2.9%	732
経費抑制など調整額		0	0.0%	▲ 2,157	▲ 1.2%	▲ 308
合計		26,024	100.0%	176,003	100.0%	25,143

実質公債費比率の推計

（単位：%）

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
実質公債費比率（3か年平均）	13.0	13.3	14.3	14.4	14.5	14.4	15.0	15.1
実質公債費比率（単年）	14.1	14.1	14.8	14.3	14.2	14.8	16.0	14.6

糸魚川市総合計画条例

平成27年3月23日条例第1号

（趣旨）

第1条　この条例は、総合計画に関する基本的な事項について定めるものとする。

（名称）

第2条　計画の名称は、糸魚川市総合計画とする。

（定義）

第3条　この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

(1)　総合計画　市の最上位の計画として、本市の目指す方向とそれを実現するためのまちづくりの基本方針であり、基本構想、基本計画及び実施計画からなるものをいう。

(2)　基本構想　まちづくりの基本方向及び都市像などの基本目標並びに目標を達成するために取り組むべき施策の大綱を示したものをいう。

(3)　基本計画　基本構想の理念を受けて、その実現に向けて必要となる個別施策を分野別に体系化したものをいう。

(4)　実施計画　基本計画で分野別に体系化した個別施策を実現するために実施する事務事業を示したものをいう。

（市政運営の基本方針）

第4条　市長は、その事務を処理するに当たり、総合的かつ計画的な市政を運営するとともに健全な財政運営を行うため総合計画を定め、これに即して行うものとする。

（議会の議決）

第5条　市長は、基本構想を策定するときは、議会の議決を経るものとする。

（審議会への諮問）

第6条　市長は、基本構想及び基本計画の策定に当たっては、あらかじめ、糸魚川市総合計画等審議会条例（平成17年糸魚川市条例第10条）第1条に規定する糸魚川市総合計画審議会に諮問するものとする。

（基本計画及び実施計画の策定）

第7条　市長は、基本構想に基づき、基本計画及び実施計画を策定するものとする。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

糸魚川市総合計画等審議会条例

平成17年3月19日条例第10号

（設置）

第1条　地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、糸魚川市総合計画等審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（所掌事務）

第2条　審議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査し、及び審議する。

(1)　糸魚川市総合計画のうち基本構想及び基本計画

(2)　国土利用計画（糸魚川市計画）

（組織）

第3条　審議会は、委員30人以内で組織する。

2　委員は、次に掲げるもののうちから市長が委嘱する。

(1)　地区代表

(2)　学識経験者

(3)　諸団体役職員

（委員の任期）

第4条　委員の任期は、諮問に係る事項について、調査及び審議を終了するまでとする。

（会長及び副会長）

第5条　審議会に会長及び副会長1人を置く。

2　会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3　会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条　審議会は、会長が招集し、会長が議長となる。

2　審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3　審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（庶務）

第7条　審議会の庶務は、企画財政課において処理する。

（委任）

第8条　この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附　則

この条例は、平成17年3月19日から施行する。

附　則（平成17年6月27日条例第210号）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（平成18年3月22日条例第16号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附　則（平成22年7月1日条例第27号）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（平成27年3月23日条例第10号）

この条例は、公布の日から施行する。

諮問文

企　第　99　号
平成27年7月28日

糸魚川市総合計画審議会
　会　長　　中嶋　千代子　様

糸魚川市長　米田　　徹

第2次糸魚川市総合計画等について（諮問）

市町合併後に策定した糸魚川市総合計画が平成28年度に計画期間が終了となることから、合併10年間の総括を踏まえ、その後の社会経済環境の変化と当市が抱える課題に的確に対応するとともに、持続可能なまちづくりに向けた行政運営の新たな基本指針として、平成29年を初年度とする第2次糸魚川市総合計画等を策定したいことから、総合計画基本構想案及び同構想に基づく基本計画案について、答申いただきたく諮問いたします。

併せて、総合計画と関連することから、国土利用計画（糸魚川市計画）案についても諮問いたします。

答申文

平成28年　8月　2日

糸魚川市長　米田　徹　様

糸魚川市総合計画審議会
会長　中嶋　千代子

第2次糸魚川市総合計画について（答申）及び
国土利用計画（糸魚川市計画）について（答申）

平成27年7月28日付け企第99号で諮問のあった「第2次糸魚川市総合計画等」の策定について、慎重な調査・審議の結果、別冊の「第2次糸魚川市総合計画基本構想案」、「第2次糸魚川市総合計画基本計画案」及び「国土利用計画（糸魚川市計画）案」のとおり答申いたします。

なお、総合計画の推進にあたっては、市民や地域、事業者等と行政による協働のまちづくりを基本に「人口減少対策」と「人口減少社会に対応したまちづくり」に取り組むとともに、次の事項に配慮されるよう要望いたします。

また、市土の利用にあたっては、安全かつ健康で文化的な生活環境の確保と市土の持続可能な均衡ある発展に向けて、適正かつ調和のとれた土地利用を行うよう要望します。

記

1　子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進めるため、郷土愛の醸成と学力向上に向けた教育環境の充実と切れ目のない子育て支援の充実を図ること。

2　健康は市民一人一人の願いであり、乳幼児期から高齢期までのライフステージに合わせた健康づくりの推進と併せて、市民が安心して暮らせるよう地域医療体制の維持・充実を図ること。

3　市民が住み続けたいと思う賑わいのあるまちづくりを進めるため、市内産業の活性化や若者・女性の働く場の創出など、地域の元気や活気を維持する取組を進めること。

4　市民誰もが住みよいまちの実現に向けて、長寿命化対策による公共施設や生活インフラの維持充実と地域の実情に応じた公共交通の確保を図ること。

5　熊本地震などを教訓に、市民生活に重大な影響を及ぼす自然災害に備え、安全・安心なまちづくりに向けた地域防災体制の充実を図ること。

6　地域の課題を解決し、住みよい地域を維持するため、自治活動の活性化を図るとともに、地域活動を担う人材の確保・育成に努めること。

7　厳しい財政状況や変化が激しい社会経済環境に的確に対応するとともに、中長期的な視点に立った計画的かつ効率的な行財政運営を進めること。

計画策定の主な経過

〔総合計画審議関係〕

（平成27年度）

月　日	会議名等	会議内容等
4月22日	市議会 全員協議会	・第2次総合計画の策定について ・総合計画の策定スケジュールについて
7月28日	第1回審議会	・第2次総合計画策定方針について ・市民アンケート調査について ・国土利用計画（糸魚川市計画）の策定について
8月20日	市議会 （総務文教常任委員会）	・第2次総合計画の策定について （策定スケジュール、市民アンケート調査の実施について）
8月27日	第2回審議会	・市民アンケート調査の調査項目について
9月28日	第3回審議会	・素案内容審議（基本構想）
10月16日	第4回審議会	・素案内容審議（基本構想）
平成28年 1月18日	第5回審議会	・素案内容審議（基本構想、計画体系）
1月19日	市議会 （総務文教常任委員会）	・第2次総合計画策定に関する市民アンケート調査結果概要について
1月28日	第6回審議会	・素案内容審議（基本構想）
2月中旬～ 3月上旬	分科会	・素案内容審議（基本計画） 第1分科会（2月10日、2月19日、3月2日） 第2章　健康福祉分野 第6章　地域づくり・市民活動・移住定住分野 第1章　子育て支援・教育分野 第2分科会（2月10日、2月19日、3月2日） 第4章　土地利用・公共インフラ分野 第5章　環境・防災・防犯分野 第3章　産業分野
3月16日	第7回審議会	・素案内容審議（基本計画） 第2章、第4章、第5章
3月30日	第8回審議会	・素案内容審議（基本計画） 第1章、第3章、第6章

（平成28年度）

月　日	会議名等	会議内容等
4月28日	第9回審議会	・第2次総合計画中間とりまとめ（基本構想、基本計画） ・市長への中間答申について ・第2次国土利用計画（糸魚川市計画）素案について
5月　9日	中間答申	・審議会から市長への中間答申
5月19日	市議会 （全員協議会）	・平成28年度策定スケジュールについて ・市議会議員へ中間答申内容について説明 （基本構想、基本計画第1章）
5月下旬～ 6月上旬	地域審議会	・地域審議会の意見聴取 能生地域審議会（5月24日） 糸魚川地域審議会（6月1日） 青海地域審議会（6月2日）
5月25日～ 6月23日	パブリックコメント	・第2次総合計画基本構想（案）、基本計画（案）意見募集
5月26日	第10回審議会	・第2次国土利用計画（糸魚川市計画）素案について
6月　2日	市議会 （全員協議会）	・市議会議員へ中間答申内容について説明 （基本計画第2章～第6章、行財政運営）
6月下旬～ 7月上旬	住民説明会	・中間答申内容の説明、意見聴取 青海生涯学習センター（6月29日：夜） 能生生涯学習センター（6月30日：夜） 糸魚川地区公民館（7月1日：午後、夜）
7月19日	第11回審議会	・最終答申案審議（基本構想、基本計画）
7月29日	第12回審議会	・最終答申案審議（基本構想、基本計画） ・第2次国土利用計画（糸魚川市計画）について
8月　2日	最終答申	・審議会から市長への最終答申
8月10日	市議会 （全員協議会）	・市議会議員へ最終答申内容について説明（基本構想、基本計画） ・第2次国土利用計画（糸魚川市計画）について
8月10日～ 9月　8日	パブリックコメント	・結果公表
9月14日	市議会 （総務文教常任委員会）	・第2次総合計画基本構想策定議案審議
9月21日	市議会定例会	・第2次総合計画基本構想議決

〔総合計画庁内策定関係〕

（平成27年度）

月　日	会議名等	会議内容等
4月　6日	市政運営会議	・総合計画策定方針について
5月～6月	基礎調査等	・基礎資料収集分析（各種統計資料、目標指標等）
6月　1日	部課長会議	・庁内策定委員の委嘱について
7月17日	第1回委員会	・策定方針（策定体制及びスケジュール）について ・市民アンケート調査票について
8月　4日	部課長会議	・市民アンケートの実施内容について
8月12日	第2回委員会	・市民アンケート調査項目について
9月　2日	第3回委員会	・まちづくりの主要課題について ・都市像について
9月11日	第4回委員会	・基本構想について ・まちづくりの主要課題について
10月　8日	第5回委員会	・施策の大綱について
10月26日	第6回委員会	・基本構想、施策の体系、施策の大綱について
12月　9日	市政運営会議	・総合計画体系について ・基本構想について
12月24日	市政運営会議	・総合計画体系について ・基本構想について
平成28年 1月下旬	分科会	第1分科会（1月26日） ・基本計画（第1章・第2章・第6章）について 第2分科会（1月25日） ・基本計画（第3章・第4章・第5章）について
2月　1日	部課長会議	・基本計画の審議について
2月中旬～ 3月上旬	分科会	第1分科会（2月16日、2月23日、3月7日） ・基本計画（第2章・第6章・第1章）について 第2分科会（2月12日、2月22日、3月4日） ・基本計画（第4章・第5章・第3章）について
2月17日	部課長会議	・基本構想、基本計画について

（平成28年度）

月　日	会議名等	会議内容等
4月13日	第1回委員会	・今後のスケジュールについて
5月　2日	部課長会議	・平成28年度策定スケジュールについて
6月　9日	第2回委員会	・基本構想、基本計画について ・目標とする都市像について
8月　2日	部課長会議	・将来指標（目標人口）について ・基本構想、基本計画について

糸魚川市総合計画審議会委員名簿

No.	役職名	氏名	選出団体	選出区分
1	会長	中嶋　千代子	糸魚川経済団体連絡協議会	諸団体役職員
2	副会長	古畑　伸一	学校応援隊地域コーディネーター	学識経験者
3	第１分科会長	水島　喜代一	糸魚川市体育協会	諸団体役職員
4	第1副分科会長	横澤　富士子	糸魚川市男女共同参画推進委員会	〃
5	第２分科会長	鈴木　秀城	一般社団法人新潟県建設業協会糸魚川支部	〃
6	第2副分科会長	綱島　喜代子	個店の魅力アップ女性の会	〃
7	委員	飯田　芳之	能生地域区長連絡協議会	地区代表
8	〃	仲林　正之	糸魚川地域連合区長会	〃
9	〃	渡邉　秀幸	青海地域地区公民館連絡協議会	〃
10	〃	渡辺　秀彦	公募委員	〃
11	〃	瀬下　忠彦	公募委員	〃
12	〃	加藤　政人	認定農業者	学識経験者
13	〃	串橋　静江	糸魚川市民生委員児童委員連絡協議会	諸団体役職員
14	〃	神喰　正秀	糸魚川市立保育園連絡協議会	〃
15	〃	黒坂　アイ子	糸魚川市食生活改善推進委員協議会	〃
16	〃	渡邉　文恵	糸魚川市文化協会	〃
17	〃	朝日　仁美	糸魚川市生涯学習推進委員会	〃
18	〃	山田　卓矢	一般社団法人糸魚川青年会議所	〃
19	〃	岡崎　忠雄	特定非営利活動法人ぐりーんバスケット	〃
20	〃	龍見　和弦	糸魚川市観光協会	〃
21	〃	松本　利恵	糸魚川なりわいネットワーク	〃
22	〃	渡辺　文夫	連合新潟上越地域協議会糸魚川支部	〃
23	〃	磯野　幸枝	糸魚川市消費者協会	〃

（委嘱期間：平成27年7月28日～平成28年9月30日）

庁内総合計画策定関係者名簿

【総合計画策定委員会】

	課名	平成27年度		平成28年度	
		役職	氏名	役職	氏名
委員長	総務課	課長補佐	井川賢一	課長補佐	磯野豊
副委員長	こども課	課長補佐	磯野豊	課長補佐	渡辺忍
委員	定住促進課	課長補佐	渡辺孝志	課長補佐	小林正広
〃	能生事務所	係長	磯貝直	係長	中村淳一
〃	青海事務所	係長	穂苅真	係長	有水賢生
〃	市民課	課長補佐	渡辺弘一	課長補佐	渡辺弘一
〃	環境生活課	課長補佐	松村伸一	課長補佐	松村伸一
〃	福祉事務所	次長	吉岡秀子	次長	吉岡秀子
〃	健康増進課	課長補佐	水嶋丈明	課長補佐	伊藤章一郎
〃	交流観光課	係長	山本喜八郎	室長	山本喜八郎
〃	商工農林水産課	センター長	池田隆	課長補佐	池田隆
〃	商工農林水産課	係長	大嶋利幸	室長	川口裕輔
〃	建設課	課長補佐	見辺太	課長補佐	穂苅真
〃	ガス水道局	次長	丸山幸三	次長	山口和美
〃	こども教育課	係長	猪又千恵子	係長	猪又千恵子
〃	生涯学習課	課長補佐	小島治夫	課長補佐	小島治夫
〃	文化振興課	係長	磯貝恭子	係長	磯貝恭子
〃	消防本部	室長	小竹和雄	課長補佐	竹田健一
事務局	総務部	部長	金子裕彦	部長	金子裕彦
〃	企画財政課	課長	藤田年明	課長	藤田年明
〃	〃	課長補佐	小林正広	課長補佐	有水嘉代
〃	〃	係長	中村淳一	係長	嶋田猛
〃	〃	主査	小杉正和	主査	小杉正和
〃	〃	主査	金子真理子	主査	池亀正人
〃	定住促進課	課長	渡辺勇	課長	斉藤喜代志
〃	〃	課長補佐	渡辺孝志	課長補佐	小林正広
〃	〃	課長補佐	斉藤喜代志	係長	杉野尚

（委嘱期間：平成27年6月1日～平成28年3月31日、平成28年4月1日～平成28年12月31日）

市民アンケート調査結果

数値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計値は必ずしも100%にならない場合があります。

＜15歳以上市民対象＞

○調査期日　平成27年9月　　○標 本 数　3,000
○回 収 数　1,412　　○回 収 率　47.1%

はじめにあなた自身のことについて、お聞きいたします。あてはまる番号に○をつけてください。

性別		男　性　45.3%　女　性　50.6%　不　明　4.1%
年齢（4月1日現在）		1　15歳～19歳　3.3%　2　20歳～29歳　5.0%　3　30歳～39歳　9.2% 4　40歳～49歳　13.0%　5　50歳～59歳　15.7%　6　60歳～69歳　22.8% 7　70歳以上　28.8%　不　明　2.3%
居住地	能生地域	1　磯　部　3.9%　2　能　生　6.0%　3　小　泊　0.7% 4　西能生　1.8%　5　中能生　2.8%　6　上　南　1.6% 7　木　浦　1.6%
	糸魚川地域	1　浦　本　2.0%　2　下早川　5.0%　3　上早川　1.4% 4　大和川　8.8%　5　西　海　4.1%　6　大　野　3.3% 7　根　知　2.3%　8　小　滝　0.6%　9　今　井　1.2% 10　糸魚川　30.9%
	青海地域	1　田　沢　11.5%　2　青　海　6.2%　3　歌外波　0.8% 4　市　振　0.6%
	その他	不　明　2.6%
職業		1　農業、林業、漁業（第一次産業）　4.7% 2　鉱工業、建設業、製造業（第二次産業）　13.6% 3　商業、飲食店、金融保険業、不動産業、運輸・通信業、電気業 サービス業、公務員（第三次産業）　28.2% 4　家　事 13.4% 5　無　職 26.4% 6　学　生　3.6% 7　その他　6.4% 不　明　3.8%
出身地		1　糸魚川市　81.4%　2　糸魚川市外　15.2%　不　明 3.5%

問１　あなたは、次の項目について、どのように感じていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

（単位：%）

	そう思う	少し思う	どちらともいえない	あまり思わない	そう思わない	未回答
（１）自然が豊かである	77.4	15.4	3.3	1.1	0.5	2.3
（２）地域が清潔できれいである	29.0	40.6	20.9	6.9	0.6	2.1
（３）高齢者が安心して暮らしやすい	10.0	23.6	36.2	19.8	8.4	2.0
（４）子どもが暮らしやすい	12.7	26.4	33.5	17.8	7.2	2.5
（５）成人が暮らしやすい	5.6	14.7	35.8	29.2	12.2	2.5
（６）子どもの教育環境がよい	11.8	27.5	36.8	15.9	5.6	2.5
（７）子育てがしやすい	10.6	26.8	38.2	15.9	5.3	3.3
（８）健康づくりが活発である	11.5	30.5	37.2	14.3	3.8	2.6
（９）医療体制が整備されている	4.5	12.9	22.4	29.7	28.5	2.0
(10)ふるさととして愛着を感じる	37.9	35.6	16.0	5.3	3.0	2.2
(11)地域の活動が積極的に行われている	13.0	35.5	34.1	11.6	3.7	2.2
(12)慣習にとらわれず自由な意見が言える	5.0	16.0	43.1	22.0	11.5	2.5
(13)文化芸術活動が活発である	7.4	26.8	37.1	19.8	6.4	2.5
(14)スポーツ・レクリエーション活動が活発である	8.7	31.3	37.5	17.1	3.5	1.9
(15)防災体制が整い災害に強い	4.8	19.2	43.9	20.7	8.8	2.6
(16)道路や鉄道など交通の便がよい	6.3	16.7	22.6	29.2	22.7	2.5
(17)観光施設が整備されている	3.5	13.5	32.6	28.3	19.8	2.4
(18)働く場に恵まれている	2.3	4.5	20.8	35.0	35.6	1.8
(19)買い物が便利である	4.3	12.5	23.4	29.9	28.2	1.7
(20)物価が安い	2.0	6.2	31.4	31.3	27.1	2.1

問２　あなたは、糸魚川市が住みよいまちだと思いますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	そう思う	13.9%	2	少し思う	33.8%
3	どちらともいえない	26.9%	4	あまり思わない	16.2%
5	そう思わない	6.2%		未回答	3.0%

問３　あなたは、これからも糸魚川市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	これからも糸魚川市に住み続けたい	66.6%
2	糸魚川市の近隣市町村に移りたい	4.5%
3	糸魚川市・近隣市町村以外に移りたい	6.2%
4	わからない	19.3%
	未回答	3.4%

問４　あなたはジオパークについて、どの程度知っていますか。あてはまる番号を１つ選び、○をつけてください。

1	よく知っている	7.6%	2	少し知っている	55.3%
3	名前程度は聞いたことがある	30.6%	4	全く知らない	3.5%
	未回答	3.0%			

問５　あなたは次の項目（78項目）について、現状の満足度や今後の重要度についてどのように感じていますか。あなたの考えに近いものをそれぞれ１つ選び、○をつけてください。

・現状の満足度　５段階
（満足している、やや満足している、やや不満である、不満である、わからない）
・今後の重要度　５段階
（大変重要である、ある程度重要である、あまり重要でない、重要ではない、わからない）

主要施策の78項目について、満足度と重要度を調査したところ、次のような結果となりました。

■満足度と重要度の乖離の大きい施策は、「地域医療体制の維持・充実」「働きやすい雇用環境の整備」「地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成」など。

満足度の平均スコア※1が低い施策のうち、重要度との乖離が大きい施策は、「地域医療体制の維持・充実」「働きやすい雇用環境の整備」「地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成」「救急医療体制の維持・充実」「特別養護老人ホームなどの入所施設の充実」などが挙げられます。

※1　平均スコア：「満足している」に＋2、「やや満足している」に＋1、「わからない」に0、「やや不満である」に－1、「不満である」に－2を与え、その平均点を算出したもの。

◆満足度と重要度の平均スコア（上位及び下位5項目）

	満足度	重要度
高い取組	①安全な都市ガスの供給 (0.96) ②安全で安定した水道水の供給(0.92) ②下水道などの生活排水処理施設の整備 (0.92) ④広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供 (0.46) ⑤消防・救急体制の充実 (0.42)	①救急医療体制の維持・充実 (1.72) ②地域医療体制の維持・充実 (1.71) ③消防・救急体制の充実 (1.68) ④火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実 (1.63) ⑤災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進 (1.59)
低い取組	①既存商店街の振興 (−0.98) ②地域医療体制の維持・充実 (−0.90) ③働きやすい雇用環境の整備 (−0.80) ④新規企業の誘致 (−0.77) ⑤鉄道やバスなどの利便性の向上 (−0.74)	①芸術・文化活動の拠点施設の整備 (0.60) ①土地区画整理事業などによる優良な市街地の形成 (0.60) ③芸術・文化活動の振興 (0.64) ④市民参加のまちづくりの推進 (0.67) ⑤スポーツ、レクリエーション活動の振興 (0.74)

問6　今後、市の財政状況が厳しくなることが予想される中で、市民の費用負担に影響を及ぼすことも考えられます。行政サービスと市民の負担のあり方について、次の中から、あなたの考えに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1	市民の費用負担が多少増えてもよいので、行政サービスを充実させる	12.7%
2	市民の費用負担は現状くらいで、現在の行政サービスを維持する	57.1%
3	市民の費用負担を減らすため、行政サービスが低下してもやむをえない	8.3%
4	どちらともいえない	17.1%
	未回答	4.9%

問7　これからのまちづくりには、行政と市民の役割分担が必要になりますが、役割分担のあり方について、あなたの考えに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1	市民の役割分担が増えてもよいので、さらによりよいまちづくりを進める	19.3%
2	今くらいの市民の役割分担の範囲内でまちづくりを進める	48.7%
3	市民の役割分担は最小限にとどめてまちづくりを進める	15.0%
4	どちらともいえない	12.3%
	未回答	4.6%

問8　当市に訪れる人を増やす交流人口拡大の取組について、ご意見、ご提案がありましたらご自由にお書きください。

問9　これからのまちづくりについて、ご意見、ご提案がありましたらご自由にお書きください。

問10　当市の人口は昭和30年頃から減少が続いており、今後も減少する見込みとなっています。持続可能なまちづくりに向けて、人口の減少を抑える（または人口を増加させる）ためには、どのような取組が必要だと思いますか。ご意見、ご提案がありましたらご自由にお書きください。

※　詳しくは、別冊の「第2次総合計画策定に関する市民アンケート調査報告書（一般用）」をご覧ください。

＜前回調査との比較＞

（1）市のイメージ

■市のイメージの良いところは、「自然環境に恵まれている」「愛着があり、ふるさとと思える」「地域が清潔できれいである」。不便や不満を感じているところは、「働く場に恵まれていない」「物価が高い」など。

良い印象の順位	悪い印象の順位	項目名	区　分	良い印象	前回との比較	悪い印象	前回との比較	改善ポイント
1	20	1　自然が豊かである	今　回	92.8		1.6		
			前　回	89.7	3.1	2.4	－0.8	4.8
3	19	2　地域が清潔できれいである	今　回	69.6		7.5		
			前　回	64.4	5.2	10.5	－3.0	6.8
11	10	3　高齢者が安心して暮らしやすい	今　回	33.7		28.2		
			前　回	30.2	3.5	34.5	－6.3	8.1
8	12	4　子どもが暮らしやすい	今　回	39.1		25.0		
			前　回	35.7	3.4	27.8	－2.8	4.0
15	7	5　成人が暮らしやすい	今　回	20.3		41.4		
			前　回	13.8	6.5	49.0	－7.6	10.3
7	13	6　子どもの教育環境がよい	今　回	39.3		21.5		
			前　回	30.3	9.0	26.1	－4.6	11.5
9	14	7　子育てがしやすい	今　回	37.4		21.2		
			前　回	—	—	—	—	—
5	16	8　健康づくりが活発である	今　回	42.0		18.1		
			前　回	40.5	1.5	22.6	－4.5	4.9
16	3	9　医療体制が整備されている	今　回	17.4		58.2		
			前　回	18.5	－1.1	56.9	1.3	－3.0
2	18	10　ふるさととして愛着を感じる	今　回	73.5		8.3		
			前　回	71.2	2.3	10.3	－2.0	2.8
4	17	11　地域の活動が積極的に行われている	今　回	48.5		15.3		
			前　回	39.5	9.0	21.6	－6.3	10.2
14	8	12　慣習にとらわれず自由に意見が言える	今　回	21.0		33.5		
			前　回	21.5	－0.5	37.0	－3.5	2.0
10	11	13　文化芸術活動が活発である	今　回	34.2		26.2		
			前　回	19.6	14.6	39.7	－13.5	20.1
6	15	14　スポーツ・レクリエーション活動が活発である	今　回	40.0		20.6		
			前　回	28.6	11.4	29.5	－8.9	14.2
12	9	15　防災体制が整い災害に強い	今　回	24.0		29.5		
			前　回	18.8	5.2	37.5	－8.0	9.1
13	5	16　道路や鉄道など交通の便がよい	今　回	23.0		51.9		
			前　回	16.6	6.4	62.2	－10.3	14.7
17	6	17　観光施設が整備されている	今　回	17.0		48.1		
			前　回	15.1	1.9	55.3	－7.2	7.1
20	1	18　働く場に恵まれている	今　回	6.8		70.6		
			前　回	5.0	1.8	75.8	－5.2	9.7
18	4	19　買い物が便利である	今　回	16.8		58.1		
			前　回	20.9	－4.1	57.5	0.6	－2.3
19	2	20　物価が安い	今　回	8.2		58.4		
			前　回	9.3	－1.1	56.8	1.6	－0.2

※「7　子育てがしやすい」は、H27調査において新たに追加した項目

前回調査から改善した項目は16項目あり、悪化した項目は3項目となりました。

〈改善した項目〉上位5項目	改善ポイント※1
13　文化芸術活動が活発である	20.1
16　道路や鉄道など交通の便がよい	14.7
14　スポーツ・レクリエーション活動が活発である	14.2
6　子どもの教育環境がよい	11.5
5　成人が暮らしやすい	10.3

〈悪化した項目〉上位3項目	改善ポイント
9　医療体制が整備されている	－3.0
19　買い物が便利である	－2.3
20　物価が安い	－0.2

(2)住み良さ

■住みよいと感じている市民は、5割未満

「そう思う」(13.9%)「少し思う」(33.8%)合わせて市民の約5割(47.7%)が住みよいまちだと感じています。前回調査と比較すると、1.3%減少しています。

区　分	①そう思う	②少し思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤そう思わない	未回答
今　回	13.9	33.8	26.9	16.2	6.2	3.0
前　回	14.2	34.8	26.4	16.0	6.7	1.7

住みよい ①+②	前回との比較	住み難い ④+⑤	前回との比較	改善ポイント
47.7		22.4		
49.0	－1.3	22.7	－0.3	－0.4

(3)住み続ける意向

■住み続けたいと感じている市民は、6割以上

「住み続けたい」と回答した人の割合が66.6%と6割以上を占めています。

区　分	①住み続けたい	②近隣市町村に移りたい	③近隣市町村以外に移りたい	④わからない	未回答
今　回	66.6	4.5	6.2	19.3	3.4
前　回	64.2	4.6	7.6	21.5	2.1

住み続けたい ①	前回との比較	移りたい ②+③	前回との比較
66.6		10.7	
64.2	2.4	12.2	－1.5

※1　改善ポイント：「そう思う」に＋1.0、「少し思う」に＋0.5、「どちらともいえない」に0、「あまり思わない」に－0.5、「そう思わない」に－1.0を与え算出したもの。

＜中学3年生対象＞

○調査期日　平成27年9月　　○標 本 数　383
○回 収 数　360　　○回 収 率　94.0%

はじめにあなた自身のことについて、お聞きいたします。あてはまるところに○をつけてください。

性別		男性 34.4%	女性 36.9%	不明 28.6%
居住地	能生地域	1 磯部 3.1% 4 西能生 0.6% 7 木浦 1.4%	2 能生 6.9% 5 中能生 3.6%	3 小泊 1.9% 6 上南 1.7%
	糸魚川地域	1 浦本 1.4% 4 大和川 10.8% 7 根知 1.1% 10 糸魚川 33.1%	2 下早川 5.6% 5 西海 3.6% 8 小滝 0.0%	3 上早川 0.6% 6 大野 3.1% 9 今井 1.4%
	青海地域	1 田沢 10.3% 4 市振 0.3%	2 青海 6.4%	3 歌外波 0.8%
	その他	不明 2.5%		

問1　あなたは、次の項目について、どのように感じていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

（単位：%）

	そう思う	少し思う	どちらともいえない	あまり思わない	そう思わない	未回答
(1)自然が豊かである	82.5	15.3	0.8	0.8	0.6	0.0
(2)地域が清潔できれいである	40.8	41.7	11.9	3.9	1.7	0.0
(3)お年寄りが安心して暮らしやすい	36.4	37.8	20.8	3.3	1.4	0.3
(4)こどもが暮らしやすい	30.8	33.3	22.5	9.4	3.9	0.0
(5)大人が暮らしやすい	31.1	31.4	28.3	6.4	2.8	0.0
(6)こどもの教育環境がよい	38.6	36.1	19.7	3.9	1.4	0.3
(7)子育てがしやすい	31.7	30.8	30.3	5.0	1.7	0.6
(8)健康づくりが活発である	33.3	40.0	20.0	5.3	0.6	0.8

(9)医療体制が整備されている	28.1	32.2	22.8	11.4	5.3	0.3
(10)ふるさととして愛着を感じる	51.4	28.9	13.1	3.6	3.1	0.0
(11)地域の活動が積極的に行われている	40.3	35.8	16.7	5.6	1.7	0.0
(12)慣習にとらわれず自由な意見が言える	26.7	30.6	35.3	5.6	1.9	0.0
(13)文化芸術活動が活発である	22.5	33.9	31.7	8.6	3.3	0.0
(14)スポーツ・レクリエーション活動が活発である	25.3	31.1	31.4	8.6	3.3	0.3
(15)防災体制が整い災害に強い	21.4	35.3	32.2	8.6	2.2	0.3
(16)道路や鉄道など交通の便がよい	21.7	26.9	20.6	20.0	10.6	0.3
(17)観光施設が整備されている	20.0	23.1	27.5	21.1	8.3	0.0
(18)働く場に恵まれている	11.1	22.2	35.8	22.2	8.6	0.0
(19)買い物が便利である	15.0	23.9	24.4	17.2	19.2	0.3
(20)物価(物の値段)が安い	16.4	26.9	44.7	7.8	3.9	0.3

問2　あなたは、糸魚川市が暮らしやすいまちだと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。

1	そう思う	24.7%	2	少し思う	39.7%
3	どちらともいえない	20.8%	4	あまり思わない	10.3%
5	そう思わない	3.6%		未回答	0.8%

問3　あなたは、将来も糸魚川市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。

1	将来も糸魚川市に住み続けたい	10.8%
2	進学などで一時的に糸魚川市を離れても、また戻ってきて住みたい	28.6%
3	住み続けたいが、事情があって移らざるを得ない	3.6%
4	糸魚川市の近くの市町村(上越市・妙高市・小谷村・朝日町等)に住みたい	5.6%
5	糸魚川市や近くの市町村ではないところに住みたい	23.1%
6	わからない	27.8%
	未回答	0.6%

問4　あなたはジオパークについて、どのくらい知っていますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	よく知っている	5.8%	2	少し知っている	68.1%
3	名前程度は聞いたことがある	21.4%	4	全く知らない	4.4%
	未回答	0.3%			

問5　今後、糸魚川市の収入が減ったりすると、学校の維持管理や道路の修繕などができなくなるため、市民のみなさんの費用負担が増えることも考えられます。行政サービス（市が行う仕事）と市民のみなさんの費用負担のあり方について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

1	市民の費用負担が多少増えてもよいので、行政サービスを充実させる	19.4%
2	市民の費用負担は現状くらいで、現在の行政サービスを維持する	49.7%
3	市民の費用負担を減らすため、行政サービスが低下してもやむをえない	2.2%
4	どちらともいえない	27.8%
	未回答	0.8%

問6　これからのまちづくりには、市役所と市民のみなさんとの役割分担が重要になりますが、役割分担のあり方について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

1	市民の役割分担が増えてもよいので、さらによりよいまちづくりを進める	28.1%
2	今くらいの市民の役割分担の範囲内でまちづくりを進める	46.9%
3	市民の役割分担は少なくしてまちづくりを進める	1.9%
4	どちらともいえない	22.2%
	未回答	0.8%

問7　糸魚川に訪れる人を増やすにはどうしたらよいと思いますか。ご意見やアイデアがありましたら自由にお書きください。

問8　あなたがもし市長だったら、糸魚川市をどんなまちにしたいですか。これからのまちづくりについてのご意見やアイデアを自由にお書きください。

問9　糸魚川市の人口は昭和30年頃から減少が続いており、今後も減少する見込みとなっています。持続可能なまちづくりに向けて、人口が減らないようにする（または人口を増やす）ためには、どのような取組が必要だと思いますか。ご意見やアイデアがありましたら自由にお書きください。

※　詳しくは、別冊の「第2次総合計画策定に関する市民アンケート調査報告書（中学生用）」をご覧ください。

＜前回調査との比較＞

（1）市のイメージ

■市のイメージの良いところは、「自然が豊かである」「地域が清潔できれいである」「ふるさととして愛着を感じる」など。不便や不満を感じているところは、「買い物が不便である」「働く場がない」「道路や鉄道など交通の便が悪い」など。

良い印象の順位	悪い印象の順位	項目名	区　分	良い印象	前回との比較	悪い印象	前回との比較	改善ポイント
1	20	1　自然が豊かである	今　回	97.8		1.4		
			前　回	91.0	6.8	2.3	－0.9	10.8
2	17	2　地域が清潔できれいである	今　回	82.5		5.6		
			前　回	76.9	5.6	6.0	－0.4	5.7
6	19	3　お年寄りが安心して暮らしやすい	今　回	74.2		4.7		
			前　回	62.9	11.3	10.1	－5.4	16.3
8	6	4　こどもが暮らしやすい	今　回	64.1		13.3		
			前　回	61.1	3.0	15.1	－1.8	5.9
9	11	5　大人が暮らしやすい	今　回	62.5		9.2		
			前　回	43.9	18.6	22.8	－13.6	24.9
5	18	6　こどもの教育環境がよい	今　回	74.7		5.3		
			前　回	48.0	26.7	12.0	－6.7	29.8
9	14	7　子育てがしやすい	今　回	62.5		6.7		
			前　回	—	—	—	—	—
7	16	8　健康づくりが活発である	今　回	73.3		5.9		
			前　回	50.0	23.3	13.1	－7.2	25.3
11	5	9　医療体制が充実している	今　回	60.3		16.7		
			前　回	50.5	9.8	20.1	－3.4	11.9
3	14	10　ふるさととして愛着を感じる	今　回	80.3		6.7		
			前　回	73.8	6.5	7.0	－0.3	9.1
4	13	11　地域の活動が積極的に行われている	今　回	76.1		7.3		
			前　回	58.5	17.6	13.8	－6.5	20.6
12	12	12　慣習にとらわれず自由に意見が言える	今　回	57.3		7.5		
			前　回	50.5	6.8	10.1	－2.6	10.1
15	7	13　文化芸術活動が活発である	今　回	56.4		11.9		
			前　回	36.5	19.9	20.6	－8.7	21.5
14	7	14　スポーツ・レクリエーション活動が活発である	今　回	56.4		11.9		
			前　回	44.5	11.9	19.6	－7.7	16.8
13	10	15　防災体制が整い災害に強い	今　回	56.7		10.8		
			前　回	30.9	25.8	21.6	－10.8	26.3
16	3	16　道路や鉄道など交通の便がよい	今　回	48.6		30.6		
			前　回	34.7	13.9	31.2	－0.6	14.6
18	4	17　観光施設が整備されている	今　回	43.1		29.4		
			前　回	34.2	8.9	36.0	－6.6	17.0
20	2	18　働く場がたくさんある	今　回	33.3		30.8		
			前　回	24.4	8.9	36.9	－6.1	13.5
19	1	19　買い物が便利である	今　回	38.9		36.4		
			前　回	29.1	9.8	46.5	－10.1	15.5
17	9	20　物価（物の値段）が安い	今　回	43.3		11.7		
			前　回	29.9	13.4	18.4	－6.7	16.1

※「7　子育てがしやすい」は、H27調査において新たに追加した項目

前回調査からは、全ての調査項目において、良い印象の割合が増加し、悪い印象の割合が減少してます。

〈改善した項目〉上位5項目	改善ポイント
6　こどもの教育環境がよい	29.8
15　防災体制が整い災害に強い	26.3
8　健康づくりが活発である	25.3
5　大人が暮らしやすい	24.9
13　文化芸術活動が活発である	21.5

(2)暮らしやすいまち

■暮らしやすいと感じている中学生は、6割以上

「暮らしやすい」と回答した生徒が64.4%と前回調査より0.6ポイント高くなっています。

区　分	①そう思う	②少し思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤そう思わない	未回答
今　回	24.7	39.7	20.8	10.3	3.6	0.8
前　回	26.4	37.4	21.6	7.8	6.3	0.5

暮らしやすい ①+②	前回との比較	暮らしにくい ④+⑤	前回との比較
64.4		13.9	
63.8	0.6	14.1	−0.2

(3)将来も糸魚川市に住み続けたい

■住み続けたいと感じている中学生は、約4割

回答の選択肢を増やした結果、「戻ってきて住みたい」という意向も把握することができ、「住み続けたい」を合わせた結果では、前回を大きく上回る結果となっています。

区　分	①住み続けたい	②戻ってきて住みたい	③移らざるを得ない	④近隣市町村に住みたい	⑤近隣市町村以外に住みたい	⑥わからない	未回答
今　回	10.8	28.6	3.6	5.6	23.1	27.8	0.6
前　回	25.6	—	—	5.3	18.1	50.3	0.8

住み続けたい ①+②	前回との比較	市外に住みたい ④+⑤	前回との比較
39.4		28.7	
25.6	13.8	23.4	5.3

※「②戻ってきて住みたい」「③移らざるを得ない」は、H27調査において新たに追加した項目

糸魚川市平和都市宣言

平成19年6月28日　制定

糸魚川市は、新潟県の最西端に位置し、日本海や北アルプスの山々などの自然資源とヒスイ文化をはじめとした歴史や伝統文化を有しています。この豊かな自然と歴史の織り成す地に生活する私たちは、この郷土を大切に守り、市民のいきいきとした活動と交流がもたらす活力のある美しいまちを築き、戦争のない平和で豊かな暮らしがいつまでも続くよう念願しています。

しかし、今なお世界各地では、戦争によってかけがえのない多くの命が失われています。

私たちは、唯一の核被爆国の国民として、被爆の恐ろしさ、苦しみを伝えていく役割を担っています。また、次代を担う子どもたちの未来のために、平和で豊かな暮らしを伝えていかなければなりません。

糸魚川市は、市民とともに平和と安全を求める誓いを新たにし、核兵器の廃絶と戦争のない真の恒久平和を願い、ここに平和都市を宣言します。

はつらつ健康都市宣言

平成20年3月19日　制定

糸魚川市の恵まれた自然の中で、生涯にわたり健康で、はつらつとくらせることは、わたしたちの願いです。

この願いに向かって、自分の健康は自分で守り、自分でつくることを基本に、個人、家庭、地域が一体となって明るく健康でくらせるまちをめざし、ここに「はつらつ健康都市」を宣言します。

一　自分にあった運動を　楽しみながら継続するよう努めます
一　規則正しい生活と　バランスのとれた食事を心がけます
一　心と心のふれあいを大切に　生き生きとした生活をおくります
一　ともに支えあいながら　健康づくりの輪を広げます

生き生きスポーツ都市宣言

平成20年3月19日　制定

わたしたち糸魚川市民は、自然に恵まれた「翠（みどり）」あふれるまちの中で、いたわりと協力しあう心をもって、スポーツを愛し、スポーツを通して心も体も健康で生き生きとくらせるまちづくりをめざし、ここに「生き生きスポーツ都市」を宣言します。

一　スポーツに親しみ　健康な心と体をつくります
一　スポーツを楽しみ　思いやりと友情の輪を広げます
一　スポーツを通して　豊かで明るい地域を築きます
一　スポーツにふれあい　いたわり支えあう社会をつくります